

## 第1642回例会報告

### 会長挨拶

会長 西澤賢二

#### マスクを寄付します

この新型コロナ禍の中、諏訪湖ロータリークラブで今何が出来るかを理事会でも取り上げ「社会奉仕委員会」と「青少年奉仕委員会」からの提案で教育現場の職員・小中の学生・福祉関係者へマスクを寄付するという活動をしていただきました。

おかげさまで5月19日には7000枚のマスクを贈呈する事が出来ます。ご協力して頂いた会員の皆様に心から感謝申し上げます。

#### 下諏訪町へ「マスク」寄贈

青少年奉仕委員会  
社会奉仕委員会

青少年奉仕活動と社会奉仕活動の一環として諏訪湖RCのメンバーの皆さんからも寄付を募り、ロータリークラブとして4,000枚の購入、会員寄付として3000枚、合計7000枚のマスクが調達できました。(調達先の(株)東洋ケミカル様からこの時期としては破格の価格で融通していただきました)



今年は下中とのブナの森の整備が中止となってしまいましたが、ロータリークラブの活動に参加いただいている児童並びに教職員の方々のために活用しようとして始まったマスクの寄付は短時

令和2年5月14日(木)晴れ

間で大きな成果を上げたことに心から会員の皆さまに感謝申し上げます

5月19日火曜日、諏訪湖RCによる「コロナウイルス対策のためのマスク寄贈式」が青木下諏訪町長、松崎教育長立会いのもと教育員会小口様の司会で開催されました。



贈呈式では、会長による 目録の贈呈、続いて青木町長から受領書の贈呈並びにお礼の言葉をいただきました。

「常日頃ロータリーの皆さんにはこの町の子供の健全な成長にご助力をいただき、感謝申し上げます。6月1日からは児童が正常に学校に戻ってきてくれてより安全に学校生活を送れるのではないかと、又、介護設備や病院等に有効活用できるのではないかと。新しい生活様式等、住民一人ひとりが自分の行動に責任をもって行動することが大切な社会になる。益々の諏訪湖RCの発展を期待します。」とのことでした。



報道関係では、信越放送、長野放送、長野朝日放送、LCV のTV局4社、信濃毎日、長野日報、市民新聞3社より、取材をいただき、翌日より放映などがされました。

当日の会長挨拶(抜粋)

私たち諏訪湖ロータリークラブは、その活動の一環として青少年の健全育成を願う「青少年奉仕活動」とこの町がよりよい町となるための「社会奉仕活動」を行っています。

本来ですと4月30日には 下諏訪中学校と17年以上続く「ロータリーブナの森」の森林整備を行う予定でしたが、今回の新型コロナウイルスのため実施できなくなりました。

そこで「ロータリーブナの森」の森林整備に予定した当クラブの予算とRC2600 地区からの給付金、また社会奉仕活動に予定していた活動費の一部も使い、使い捨てマスクを購入することにいたしました。また会員に使い捨てマスクの寄付を募りましたところ、現物で3000枚のマスクが集まりました。

調達できました合計7000枚のマスクを次のようにご使用いただければ幸いです

諏訪湖清掃などでもご協力いただいている下諏訪町の4小中学校の児童・生徒・職員の皆様に3500枚を贈呈いたします。

またこの町の福祉のために、マスクを必要としている方に3500枚を贈呈いたします

よろしくご活用のほどお願い申し上げます。



諏訪湖ロータリー  
便り

**坂村** ところで、会長サマ、ニコボックスはどうなってますか？どうしたら良いのでしょうか！□

**会長** 5月21日は例会があります 是非そこでご利用ください... 金額の上限は御座いません \\_(・ω・)ココハモットモ重要！

**坂村** お仕事してないのに... お小遣いも半額になりました。(えーん)それでも筆りとのねー！

**会長** ヨッ 太っ腹

**坂村** 腹は会長サマには負けて居ます(sweating smiley face)

**ふみたん** まあまあ、お二人さん、花を見て心穏やかに「都わすれ」が咲きました。

なお、坂村様結婚記念日のニコニコBOXは3,000円をめやすにプラスアルファです。確か4月ご結婚記念日と思いますが！！

**坂村** 花の名前と同様に、忘れております。記憶にございません。(Sally sweat)



花の名前がわかりました



キバナカタクリ・西洋カタクリ



イワヤツデ・タンチョウソウ

小中学校などにマスク

諏訪湖RCが7000枚寄贈



青木町長に目録を手渡す西澤会長

諏訪湖ロータリークラブ(RC)は19日、町内の4小中学校と福祉施設に、使い捨てのマスク7千枚を寄贈した。町役場に西澤賢二会長ら会員5人が青木町長を訪ね、「役立ててほしい」と届けた。

中学生と森林整備作業などを行っているが、新型コロナウイルスの影響で中止になったため、活動費をマスクの購入費に充て、会員からも寄付を募った。

西澤会長は「活動が中止になる中で、何ができるかと考えた。子どもたちや教職員、町の福祉のために活用してほしい」と話した。青木町長は「皆さんには、日頃から子どもたちといろんな場面で関わり、自然環境や思いやりの大切さなどを教えてくれていた。マスク着用でより安全に生活が送れる。有効に活用したい」と感謝した。

同RCは例年、青少年健全育成や社会奉仕活動の一環で、地元

の福祉のために活用